

1. 総合相談業務

村内に住む高齢者の様々な相談を受け止め、適切な機関、制度、サービスに繋ぎ、継続的にフォローできるように身近な相談機関として活動してきました。

(1) 地域におけるネットワーク構築業務

① 地域高齢者・婦人会へのPR

地域包括支援センターの役割を知っていただくため、婦人会役員、老人クラブ役員を対象に講演会、普及広報活動実施

開催日	曜日	対象者	参加人数
平成20年4月9日	水	婦人会役員	32名
平成20年4月11日	金	村老人クラブ役員	46名
平成20年4月15日	火	民生児童委員会	29名
平成20年8月28日	金	民生児童委員会	24名
合計		5回開催	131名

② 地域ネットワーク構築

地域での見守りのネットワークは、民生児童委員を中心に見守りしていかなければならない方を見守りして頂きました。民生児童委員や近所の方とは、随時連携をとりながら専門機関へも繋がりました。関係機関との連携は、地域ケア会議を中心に、其々の機関の役割を確認しながら「住みなれた我が家で自分らしく過ごせるよう」支援してきました。

《評価と課題》

民生児童委員との連携、各関係機関との連携も徐々に取りれるようになり、困難事例への対応もできてきたように思います。

(2) 総合相談支援業務

総合相談業務の中では、生活全般に関することが主になりました。これらは一人暮らし、二人暮らしの方の見守り等の実態把握の訪問によるものです。

業務内容	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	実数	延べ件数	実数	延べ件数	実数	延べ件数
生活全般に関すること	67名	99件	90名	164件	126名	173件
医療及び受診に関すること	13名	23件	25名	41件	34名	48件
介護及び制度に関すること	32名	68件	123名	281件	77名	136件
社会保障制度に関すること	4名	5件	6名	6件	9名	13件
その他の相談及び対応	33名	45件	100名	222件	172名	248件
合計	149名	240件	344名	714件	418名	618件

《評価と課題》

① 地域の中での安心できる拠点としての役割

三年目になり、包括支援センターも少し分かって頂けるようになりました。身近な存在として直ぐ相談できるよう「地区担当制」をとり、特に訪問見守りが必要な方は、必要に応じて訪問できる体制をとってきたことは良かったと思います。

② 様々な内容について総合的に相談できる仕組みづくり

多様な相談に対応する為に、居宅支援事業所、役場、福祉協議会等との連携を図っ

てきました。また、訪問が必要なときにはタイムリーな訪問ができる体制を整えられたことも良かったと思います。

2. 包括的継続的ケアマネジメント支援業務及び権利擁護業務

高齢者が住みなれた地域で暮らし続けることができるよう、各関係機関と連絡調整を密にし、包括的継続的に支援するよう努めてきました。

今年度は、地域ケア会議を核に処遇困難事例や各関係機関が具体的にケースに係わるかなど、話し合いながら活動してきました。

(1) 業務内容

業 務 内 容	実 数	延べ件数
高齢者等の実態把握	4名	4件
ケアマネ支援に関すること	1名	1件
地域ネットワークに関すること	3名	4件
地域ケア及び個別ケア会議	31名	33件
処遇困難事例に関すること	2名	26件
権利擁護に関すること	0名	0件
合 計	41名	68件

(2) 地域ケア会議 月1回開催

検 討 内 容	件 数
家族介護用品給付事業	176件
高齢者快適住まい助成事業	8件
配食サービス事業	1件
困難事例検討	15件
地域おたすけあい事業	7件
計	207件

《評価と課題》

- ① 地域ケア会議については給付事項が多かった。困難事例では、地域ケア会議で話し合ったことにより、各関係機関が連携し各事例に対し支援することができました。
- ② 介護支援専門員への相談や個別指導においては、共に学習検討してゆく姿勢で活動してきました。困難事例が出たときには、事業所が隣接しているため、その都度話し合いながら皆で考えてきました。

3. 介護予防ケアマネジメント業務

地域の高齢者の方が、住みなれた地域で安心して生活を継続することができるようにするため、本人ができることはできる限り本人が行うことを基本として、ケアマネジメントを行ってきました。

(1) 要支援1・2のケアマネージメント

	平成18年度利用者	平成19年度利用者	平成20年度利用者
4月	0名	32名	46名
5月	3名	35名	45名
6月	6名	33名	45名
7月	8名	34名	44名
8月	11名	36名	48名
9月	16名	37名	51名
10月	16名	44名	50名
11月	17	43名	50名
12月	20名	42名	49名
1月	22名	43名	41名
2月	25名	44名	42名
3月	27名	44名	42名
合計	171名	467名	553名

(2) 特定高齢者のケアマネージメント

介護予防プログラム	参加人数
口腔器機能向上事業	9名
運動器機能向上事業	15名

《評価と課題》

- ① 要支援1・2のケアマネージメントに於いては、本人の意欲を十分に引き出しながらご利用者のできることを多くしていくよう支援してきました。しかし、要支援はサービス料金が月額のため、要支援2になると逆に料金が高くなり通所回数を減らす方もみられ制度の不具合も感じられます。
- ② 要支援1・2のケアマネージメントは、平成18年度は171名、20年度は467名と徐々に増えてきています。
- ③ 特定高齢者に於いては、運動・口腔機能向上の2事業のマネージメントを行ってきました。

各事業とも参加なされたかたの感想をお聞きすると「参加して良かった。」との声が聞かれました。また、施行前後の評価でも効果は表れているようです。

4. 委託業務

(1) 家族介護者支援事業（家族介護教室）

平成20年度の区巡回型介護教室は、各地区で老人会、婦人会を中心に行いました。日時・開催場所・内容をできるだけ希望に応じて対応しました。内容については、「地域包括支援センターの紹介」・「介護予防のためのこころがけ」「介護保険使用状況」等を中心に実施してきました。また、体験型・訪問型の教室は、村社会福祉協議会と共催で実施し、「高齢者の食べやすい食事作りや高齢者の疑似体験」「車椅子体験」を実際に体験してみるにより、高齢者を身近に感じ取ってもらうことを目的に実施いたしました。新たに認知症介護・予防教室を講師にグループホームヨッシーⅣの大井千加子先生をお迎えし、関係機関と共催で開催しました。

① 各地区巡回型

開催日	曜日	対象者	参加人数
平成20年5月 8日	木	深谷ミニデイサービス	24名
6月18日	水	一人暮らし会食会	45名
6月28日	土	比曽婦人会	12名
7月 4日	金	草野婦人会	23名
7月22日	火	飯樋町老人クラブ	40名
7月22日	火	二枚橋ミニデイサービス	22名
8月26日	火	蕨平ミニデイサービス	13名
9月 5日	金	八木沢・芦原婦人会	5名
9月 8日	月	大倉ミニデイサービス	11名
9月26日	金	八木沢・芦原ミニデイ	19名
12月 7日	日	大久保・外内介護予防教室	16名
12月 7日	日	宮内地区介護予防教室	16名
平成21年1月21日	水	草野ミニデイサービス	23名
1月22日	木	白石ミニデイサービス	19名
2月12日	木	比曽ミニデイサービス	14名
2月24日	火	二枚橋ミニデイサービス	14名
3月 4日	水	関沢ミニデイサービス	22名
3月10日	火	佐須ミニデイサービス	25名
合 計		18回開催	363名参加

② 体験型（小学生） ボランティアスクール参加者（社会福祉協議会と共催）

開催日	曜日	対象者	参加人数
平成20年8月5日	火	村内の全小学生を対象に開催	12名
平成19年8月6日	水	村内の全小学生を対象に開催	12名
合 計		村内の全小学生 2回開催	合計 24名参加

③ 学校訪問型

開催日	曜日	対象者	参加人数
平成20年6月 18日	水	飯館中3年生	68名
平成21年2月 13日	月	草小3・5・6車椅子体験	70名
合 計		1中学、1小学校、 2回開催	138名参加

④ 認知症介護・予防教室

開催日	曜日	対象者	参加人数
平成20年10月31日	金	草野地区	16名
10月31日	金	二枚橋地区	12名
平成20年11月 6日	木	飯樋町地区	24名
11月 6日	木	大倉地区	16名
11月 8日	土	前田・八和木地区	8名
合 計		5回開催	76名参加

《評価と課題》

- ① 巡回型介護教室は各老人会、婦人会に開催の協力を頂き教室を開催しましたが、取組みができず開催できない地区もあったことから、次年度に向けて開催できなかった地区への働きかけを行っていきたいと思います。
- ② 子供達への介護教室は、高齢者の介護を少しは身近に感じてもらえたと思います。

- ③ 認知症・介護予防教室は、各関係機関との共催で行い、問題を共有して活動できました。

参加された方は、認知症サポーターにもなって頂き、地区でのサポーター役として活動して頂く予定です。次年度も5地区継続して行っていくことを関係機関で確認しました。

(2) 家族介護者交流事業

① 介護者のつどい

対象者 要介護4・5の方を介護している方

介護者のリフレッシュを目的として、介護者の健康チェック、介護相談や相互の意見交換、その後の食事会、入浴等でゆっくりと過ごして頂き、日頃の介護疲れを癒して頂きました。

事業内容	参加対象数	参加希望者	実参加者数
家族介護者交流事業	36名	12名	10名(男1名、女9名)

② 地区のお茶のみ会(介護者のつどいの参加状況)

きこりで行う介護者の集いには、介護度が低い為に参加できない、介護する方がいるため家を離れることができない方たちの為に、いいたて在宅介護支援センターと共に各地区での介護者のお茶のみ会を開催しました。

開催日	場所	参加者
2月16日(月)	佐須公民館	民生委員1、一般参加1
2月17日(火)	比曾集会所	介護者5
2月18日(水)	草野会館	介護者3、民生委員1
2月19日(木)	臼石集会所	介護者1、民生委員2
2月20日(金)	長泥コミュニティセンター	介護者1、民生委員1、一般参加1
2月23日(月)	大倉消防屯所	介護者3、民生委員1、一般参加2
2月24日(火)	伊丹沢集会所	介護者1、民生委員1
2月25日(水)	前田公民館	介護者1、民生委員1、一般参加1
2月26日(木)	飯樋町集会所	民生委員2
2月27日(金)	宮内公会堂	介護者2
3月 2日(月)	二枚橋会館	介護者1、民生委員1、区長1
3月 3日(火)	蕨平自治公民館	介護者3、民生委員1
3月 5日(木)	深谷集会所	民生委員1、区長1
合計	13会場	介護者22名、民生委員12名、区長2名、一般参加5名

《評価と課題》

- ① 介護者のつどいでは、介護の状況、苦労していることなどを皆で話しあえたことは、「苦労しているのは皆同じだ「自分ばかりだと思っていたがそうではなかった」など皆さんそれぞれ感じる事があったようです。また、入浴や昼食会を行いリラックスした雰囲気でした。
- ② 介護者のつどいに参加できる方は、例年10人前後です。また、要支援1から要介護3までの方のリフレッシュする場もないことから、事業の見直しを村に提案しました。
- ③ 地区でのお茶のみ会は、近くの集会所で行ったので気楽に参加して頂けたことは良かった。また、一般の方の参加もあり介護保険制度を理解して頂くのにも良い機会でした。

(4) 家族介護用品給付事業

要介護3・4・5の在宅介護の方を対象に介護用食器及び紙オムツの給付を行いました。紙オムツについては月額4,000円を限度に給付をしました。

① 平成20年度家族介護用品給付事業 実績

給付内容	給付月	利用者数	給付金額	発行対象者数
紙おむつ	4月	10名	94,000円	52名
//	5月	16名	134,000円	51名
//	6月	13名	93,000円	52名
//	7月	32名	320,000円	51名
//	8月	13名	68,000円	53名
//	9月	10名	88,000円	56名
//	10月	37名	300,000円	57名
//	11月	31名	322,000円	62名
//	12月	14名	104,000円	63名
//	1月	42名	444,000円	57名
//	2月	33名	252,000円	61名
//	3月	34名	341,000円	62名
合計		285名	2,560,000円	677名

② 紙おむつ該当者の推移

18年度	19年度	20年度
68名	71名	77名

《評価と課題》

① 要介護者が年々増えてきて紙おむつの該当者も増えてきています。

(5) 各種申請代行

一人暮らし高齢者及び高齢者夫婦世帯等、緊急通報装置の設置が必要と思われる世帯へ申請代行をおこなっております。